

-Index- 高等部「進路説明会」「授業見学会・教育相談」ご案内
チャレンジ！発音指導⑯
きこえのしくみについて



＼高等部・高等部専攻科／

令和6年度入学に向けた教育相談

本校高等部では、聴覚障がいのある中学校・支援学校中学部3年生とその保護者を対象に、教育相談を実施してします。また高等部専攻科では、聴覚障がいのある高等学校・支援学校高等部3年生とその保護者を対象に、教育相談を実施してします。

<1> 期 間 令和5年6月1日(木)～12月末

<2> 場 所 本校高等部4階 応接室

<3> 対 象

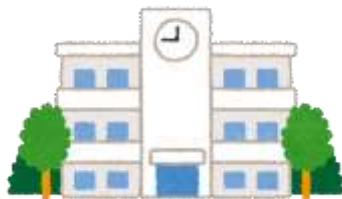


高等部	中学校・支援学校中学部3年生とその保護者、 担任および進路指導関係担当教員
高等部 専攻科	高等学校・支援学校高等部3年生とその保護者、 担任および進路指導関係担当教員

<4> 申 込 別紙申込書を、在籍校を通して本校に提出

<5> その他

- ・教育相談に伴い、学校見学・寄宿舎見学会もできます。事前にお知らせください。
- ・教育相談は1回あたり約30分を予定しています。
- ・保護者の方と生徒ご本人の教育相談になりますが、保護者のみの実施も可能です。
また、教員の付き添いは任意です。
- ・駐車場がありませんので、車での来校はご遠慮ください。
- ・来校時は、事前の検温、体調確認にご協力ください。



尚、本校高等部では、7月に学校紹介と体験入学を行います。対象は、聴覚障がいのある中学校・支援学校中学部生徒とその保護者、担任および進路指導担当教員です。進路選択の参考として、ぜひご参加ください。

<日時> 令和5年7月21日(金) 9:20 受付開始

<場所> 本校高等部

<対象> 中学生とその保護者、担任および進路指導担当教員

教育相談、学校紹介・体験入学の問い合わせ

大阪府立中央聴覚支援学校 高等部 山本
TEL 06-6761-1421 (高等部直通) 06-6761-1419
FAX 06-6762-1800



チャレンジ！発音指導 ⑯

促音

促音「っ」（つまる音）は、わずかに息を止めて発音します。ですので、促音の発音要領は、リズム練習から誘導するとよいと言われています。また、一般には、無声の破裂音、摩擦音、破擦音の子音の部分が促音になり、有声音や通鼻音などでは作られません。ですので、語句や文章、遊びの中の擬態語、擬音語（カッタカッタ、ヨッコイショなど）から誘導するなどして練習をすることが有効だと言われています。

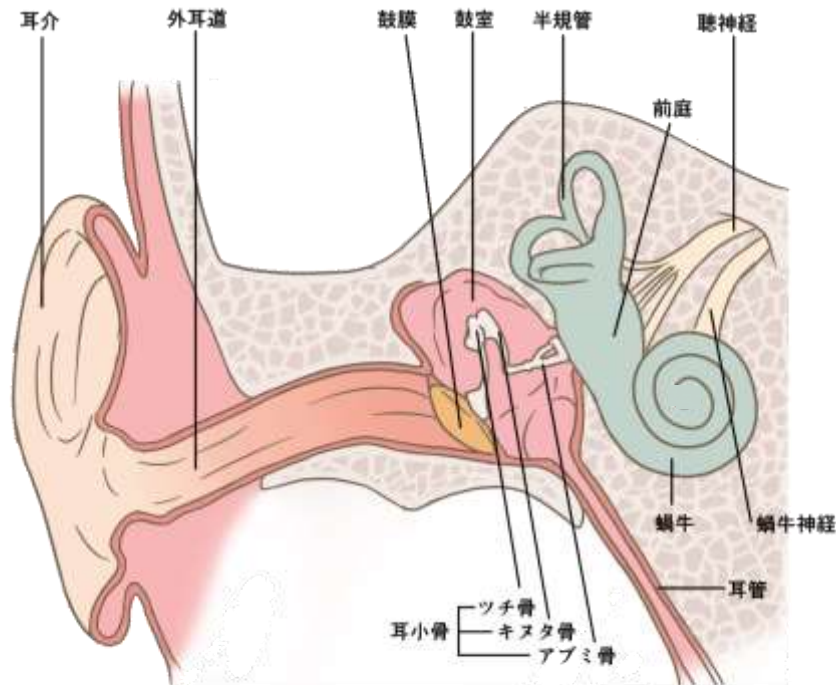


また、舌で息を長めにせき止める練習をしてから、「しっぱい」「マッチ」「いっかい」「いっさつ」といった後続子音の違う語句で種々の促音を機能的に練習することもよいと思います。

きこえのしくみについて

本校では、自立活動の授業で聴覚学習に取り組んでいます。聴覚と補聴機器に関する知識を身につけ、自分のきこえを理解するために、子どもたちの発達段階に応じて、「きこえのしくみ」についても学習しています。聴覚に障がいのある子どもを担当している先生方にも、基礎的な知識について知っていただければと思います。

耳は、外耳・中耳・内耳の3つの部分に分かれています。外耳は、主に音を集めて鼓膜を振動させる働きがあります。中耳は、その振動を内耳に効率よく伝えます。そして内耳は、振動を電気的な信号に変換して、脳に伝える働きを担っています。



音を集めて鼓膜を振動させる

振動を内耳に効率よく伝える

振動を電気信号に変換して脳に伝える

引用イラスト：看護 roo! (<https://www.kango-roo.com/ki/>)

／耳の各部位／

- 耳 介：音を効果的に集めます。音の方向を知るのにも役立っています。
- 外耳道：耳介で集めた音を共鳴させて、鼓膜に伝える役割があります。
- 鼓 膜：外耳道を通ってきた空気の振動を耳小骨に伝えます。
- 耳小骨：3つの小さな骨（ツチ骨・キヌタ骨・アブミ骨）です。
鼓膜の振動を蝸牛に伝えます。
- 蝸 牛：蝸牛の中には多数の有毛細胞があり、伝わってきた振動を電気信号に変換します。

難しい内容にはなりますが、中学部段階の生徒に対しては、授業の導入の段階で「耳鼻科のお医者さんから話があったときに、自分で理解できるといいよね!」「自分のきこえのことを相手に伝えるための知識として必要だよ!」と説明しています。

外耳道について学習するときには、耳かきや耳垢の話をしたり、鼓膜について学習するときには、中耳炎の話をしたりします。また、蝸牛について学習するときには、ピアノの鍵盤に例えて学習すると理解しやすいようです。



蝸牛はピアノの鍵盤のように、場所によって感じ取る音の高さが異なります。入口に近いところでは高い音を感じて、奥に進につれて、低い音を感じます。

学年によっては、グループごとに調べ学習を行って発表したり、掲示物を作成したりすることもあります。耳模型を見たり触ったりすることあれば、補聴器や人工内耳のメーカーが作成している動画の視聴をすることで、音の伝わり方についての理解が深まるケースも多いです。

きこえのしくみについて学習したうえで、きこえの程度や難聴の種類についての学習を進めていきます。具体的な内容については、次号に掲載します。

「みみネット」編集部：
大阪府立中央聴覚支援学校 聴覚支援センター 担当：中咲、金森
〒540-0005 大阪市中央区上町1-19-31
TEL. 06-6761-1419 FAX. 06-6762-1800